

2011 年度活断層学会学会賞

授賞者： 淡路市

活動対象： 北淡震災記念公園の展示と普及活動

授賞理由：

兵庫県淡路市の北淡震災記念公園は、1995 年兵庫県南部地震時に地表に現れた地震断層（国指定天然記念物）を保存・展示する野島断層保存館を中心に、活断層や地震・防災に関する普及教育活動を旧北淡町時代から引き続いて行ってきた。入館者数は1998 年4 月に開館以来約 800 万人を超える。地震断層としての野島断層を保存・展示するだけでなく、活断層及びそれに関連する災害などを幅広く開設するとともに、付属のメモリアルハウスにおいては、被災の様子を現実に残された状態で示すとともに地元の震災体験者による「震災の語りべ」活動が行われ、防災・教育関係者のみならず、一般入館者にも活断層の理解と防災意識の向上に寄与してきた。また、併設のセミナーハウスでは、2000 年以降、震災記念日（1 月 17 日）前後に「北淡活断層シンポジウム」を毎年開催するとともに、2000 年・2005 年・2010 年には世界の第一線の研究者が参加する「北淡国際活断層シンポジウム」を開催し、' HOKUDAN' の名を世界に広めるなど、活断層・地震や防災に関する研究交流の場としても活用されてきた。このような施設やそこでの活動事例は世界的に見ても稀有であり、日本のみならず諸外国の地震断層・活断層の保存施設の見本となっており、その維持管理の労は特筆に価する。以上のように、北淡震災記念公園は、活断層や地震に関する普及活動における貢献がきわめて顕著であり、その設置・管理・企画・運営を行ってきた淡路市に、2011 年度日本活断層学会賞を授与する。